

# 第2四半期決算説明会



## 株式会社 帝国電機製作所

平成22年11月18日

(東証1部・大証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

# 当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

## 平成23年3月期第2四半期累計の概況

百万円	平成21年9月 上期実績	平成22年9月 上期実績	伸率	平成22年9月 上期計画	計画比
売上高	7,069	7,625	7.9	7,157	6.5
営業利益	487	827	69.6	442	86.8
経常利益	554	665	20.0	464	43.4
当期純利益	247	298	20.7	219	35.8
1株当り当期純利益	26円17銭	31円60銭	-	23円28銭	-

- 前年同期比、増収増益。
- 対計画比では、期初計画を堅めに設定した面もあるが、操業度の向上や人件費を含む製造費用などコスト削減努力により、売上・営業利益とも超過。

## 四半期推移

百万円	平成22年3月				平成23年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	3,450	3,618	3,423	4,248	3,530	4,094
営業利益	219	268	259	297	311	515
経常利益	301	253	315	368	204	461
当期純利益	104	142	245	244	62	235
1株当り当期純利益	11円05銭	15円12銭	25円98銭	25円93銭	6円65銭	24円95銭

注)平成22年3月期第4四半期は(通期決算－第3四半期累計期間)で計算されているため正式な数字ではありません。

- 平成21年3月期第4四半期をボトムに平成22年3月期は回復傾向を示し、平成23年3月期第2四半期累計期間も回復傾向は継続している。

## 事業別セグメントの状況

百万円	平成22年3月				平成23年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	3,450	3,618	3,423	4,248	3,530	4,094
ポンプ事業	2,914	3,006	2,771	3,604	2,867	3,430
電子部品事業	466	545	568	534	569	582
その他事業	70	66	83	109	94	82
営業利益	219	268	259	297	311	515
ポンプ事業	219	236	246	316	322	519
電子部品事業	0	40	20	-27	-15	-9
その他事業	0	-8	-7	7	5	5

注)平成22年3月期第4四半期は(通期決算-第3四半期累計期間)で計算されているため正式な数字ではありません。

- ・ポンプ事業は海外輸出の伸長や原価低減による粗利率の改善と提出会社の販管費の節減等により高い利益を維持。
- ・ポリシリコン向けポンプは依然好調。
- ・電子部品事業は回復顕著。営業利益は新工場稼動に伴う減価償却費や製造ラインの移管及び運送等の費用の増加により当第2四半期累計期間は赤字。

## 所在地別セグメントの状況(参考)

百万円	平成22年3月				平成23年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	3,450	3,618	3,423	4,248	3,530	4,094
日本	2,032	1,919	1,982	2,301	2,049	2,590
欧米	543	593	491	664	598	452
アジア	875	1,106	949	1,282	882	1,052
営業利益	219	268	259	297	311	515
日本	83	-13	51	50	207	474
欧米	47	91	71	16	22	7
アジア	96	165	138	183	83	165

注1)平成22年3月期第4四半期は(通期決算-第3四半期累計期間)で計算されているため正式な数字ではありません。

注2)売上高は外部顧客に対する売上高。営業利益合計は連結調整後営業利益。

- **日本**
  - 主力のポンプ事業は、国内の特定分野における売上と海外輸出が大きく貢献。
  - 電子部品事業での自動車用電装品は自動車産業の生産回復により需要が堅調に推移。
- **欧米**
  - 米国の石油化学業界向けケミカル機器モータポンプの売上は円高の影響で円換算では目減りしたが、受注は好調であり下期には売上に結びつく見込。
- **アジア**
  - 中国市場で石油化学業界向けケミカル機器モータポンプや冷凍機・空調機器モータポンプ及び高速鉄道車両用モータポンプの売上が好調。

## 受注・受注残の状況

百万円	平成21年9月上旬		平成22年9月上旬			
	受注高	受注残	受注高	増減率	受注残	増減率
ポンプ事業	5,880	3,627	7,139	21.4%	4,612	27.2%
電子部品事業	1,065	197	1,139	7.0%	186	-5.5%
その他事業	156	110	204	31.2%	138	25.4%
合計	7,101	3,935	8,483	19.5%	4,938	25.5%











### • ポンプ事業

- 海外市場は需要が回復傾向であるが、国内市場の回復は遅れている。
- ポリシリコン向けは好調。
- 中国市場は政府の大規模な景気刺激策の効果が一巡したとはいえ、依然として大きな市場であることに変わりはなく好調に推移すると思われる。

### • 電子部品事業

- 自動車用電装品の電子機器ユニットは自動車産業の生産回復により需要が回復しているが、今後補助金終了の影響が若干顕在化する可能性がある。

## 事業の動向

事業区分	主要製品など		今後の予想
ポンプ事業	ケミカル用	ケミカル機器用	
		LPG機器用	
		冷凍機・空調機器用	
	ケミカル以外用	半導体機器用	
		電力関連機器用	
		定量注入機器	
電子部品事業	自動車用電装品		
その他事業	特殊機器	電磁石	
		昇降機	
	健康食品		

ポンプ事業の引き合いは徐々に回復している。



# 今期業績見通し

## 【通期予想】

百万円 伸率%	22年3月期(実績)		23年3月期(予想)	
	金額	伸率	金額	伸率
売上高	14,741	-9.2	15,934	8.1
営業利益	1,044	-42.8	1,686	61.5
経常利益	1,238	-27.6	1,505	21.6
当期純利益	737	-15.1	879	19.3
1株当り当期純利益	78円08銭		93円12銭	

- ・前期比増収増益を見込む。
- ・円高の影響等はあるものの海外輸出が堅調に推移すると判断して業績予想を上方修正。

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

# 今後の成長戦略

## 海外事業の強化

- **北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)**

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。ただし、中間選挙結果が現政権の政策に及ぼす影響が懸念される。

- メカニカルシールポンプ市場への侵攻
- 超大型キャンドモータポンプの受注
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大
- 市場拡大のための代理店網の営業力強化
- TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充

- **中国(近年、ケミカル産業が急成長している)**

政府による大規模な景気刺激策も一巡し、景気の減速感が懸念されるが、電力、鉄道などインフラ整備に係る需要は引き続き好調。石油化学業界の設備投資の本格回復も見込まれる。

- 新規市場・顧客の拡大を通じ、更なるシェア向上を図る。(電力関連機器モータポンプの現地生産・販売開始)
- 営業力強化・サービス体制の拡充(09年2月江蘇省無錫市にサービス会社設立、09年6月山東省済南市にサービス会社設立、09年10月山東省青島市に営業所新設)
- 内部管理体制の拡充(与信管理・キャッシュフロー重視・回収強化)

# 中期的な経営戦略と目標

- **中期的な経営戦略**

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- **経営目標**

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
  - 海外売上高比率55%以上(当第2四半期連結累計期間 48.7%)
  - 売上高経常利益率12%以上(当第2四半期連結累計期間 8.7%)

## 配当金の推移

	1株当たり中間配当	1株当たり期末配当	1株当たり年間配当
平成20年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成21年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成22年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成23年3月期	10円00銭	10円00銭 (予定)	20円00銭 (予定)



株式会社 帝国電機製作所

# 決算説明

取締役総務本部長兼経営企画部長  
尾上喜一郎

## 会社概要

## プロフィール

商号	株式会社 帝国電機製作所	昭和 14 年 9 月	鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曾根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立
本社所在地	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60	昭和 19 年 2 月	業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工
敷地面積	42,286 m <sup>2</sup>	昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月	自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州トバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立
設立年月	昭和 14 年 9 月	平成 6 年 12 月	中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立
資本金	2,116,823 千円(平成 22 年 9 月末)	平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月	台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立
発行済株式数	9,450 千株	平成 11 年 5 月 5 月	大阪証券取引所市場第二部に上場 キャンドモータポンプが PTB (ドイツ国政府防爆検定機関物理工学研究所) 防爆検定に合格
業種	電気機械器具の製造販売	平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市に TEIKOKU ELECTRIC GmbH を設立
決算期	3 月 31 日(年 1 回)	平成 15 年 2 月	子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社) 買収
従業員数	1,218 人(連結)、317 人(単体) (平成 22 年 9 月末)	平成 17 年 2 月	東京証券取引所市場第二部に上場
事業所数	2 工場、5 営業所、3 出張所	平成 17 年 10 月	子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立
連結	子会社 13 社 (国内 5、海外 8)	平成 18 年 9 月 平成 19 年 2 月 平成 20 年 10 月	東京証券取引所市場第一部に上場 大阪証券取引所市場第一部に上場 帝国電機技術開発センターおよび 上月電装新工場竣工
社是		10 月 平成 21 年 2 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
みんなで良くなろう		平成 21 年 6 月	山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
誠実に事に当たろう		平成 22 年 4 月 平成 22 年 5 月	平福電機新工場竣工 TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得
積極的にやろう			

# 損益計算書の概要

	平成22年9月 上期実績	前年同期比 %
単位 百万円		
売上高	7,625	+7.9
売上原価	4,694	+2.0
売上総利益	2,930	+18.9
販売費・一般管理費	2,103	+6.3
営業利益	827	+69.6
営業外損益	▲161	
経常利益	665	+20.0
特別損益	▲16	
税引前利益	649	+25.0
法人税等	350	
当期純利益	298	+20.7

[評価為替: 1US\$=88.52円、1元=13.06円、1EUR=107.80円、1TW\$=2.75円、1KRW=0.07]

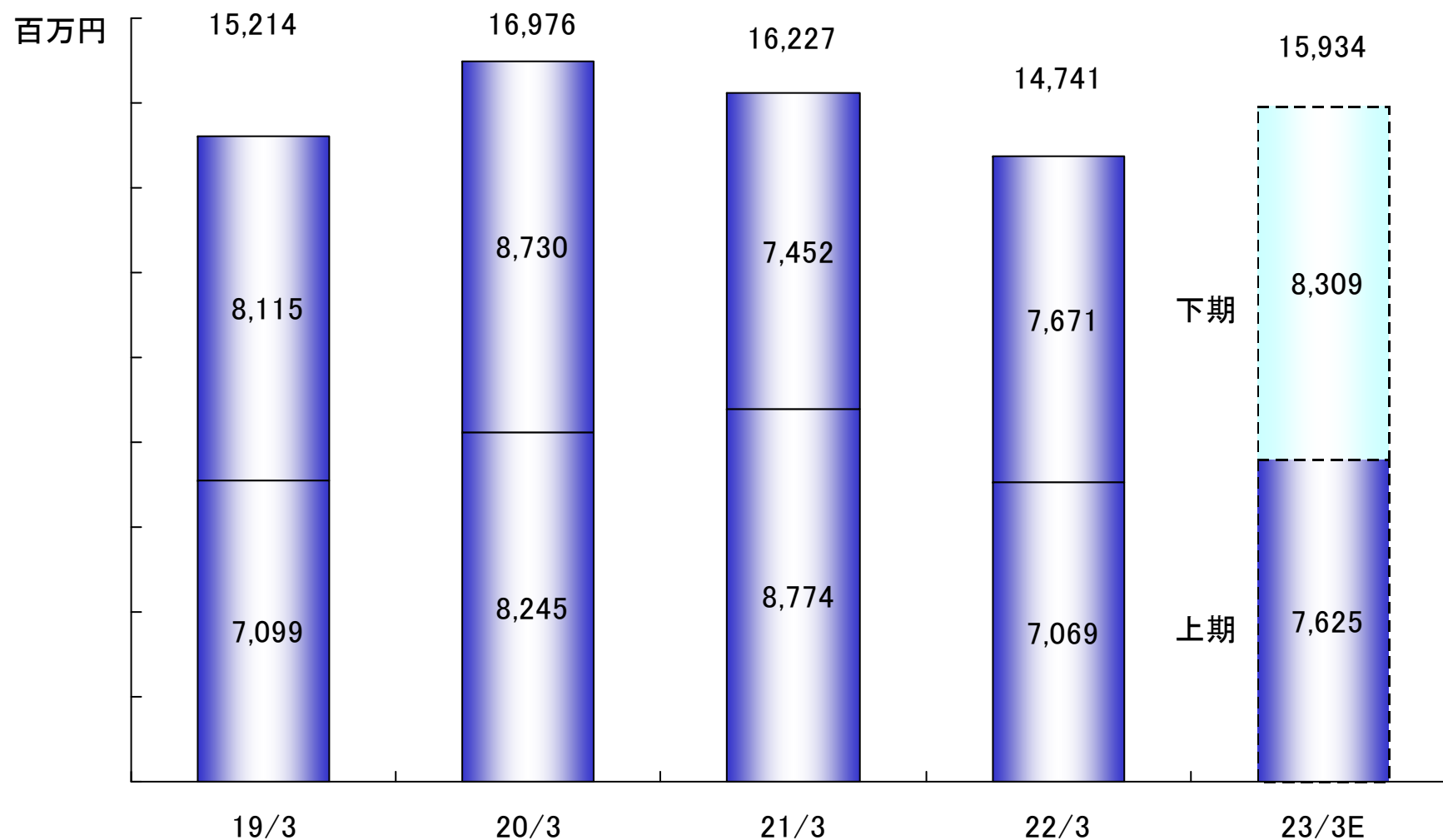
## 今期予想

単位 百万円	通期	前期比 増減%
売上高	15,934	+8.1
売上原価	9,939	+3.7
売上総利益	5,995	+16.3
販売費・一般管理費	4,308	+4.8
営業利益	1,686	+61.5
経常利益	1,505	+21.6
当期純利益	879	+19.3

[予想為替レート: 1US\$=82.0円、1元=12.5円、1EUR=115.0円、1TW\$=3.0円、1KRW=0.07]



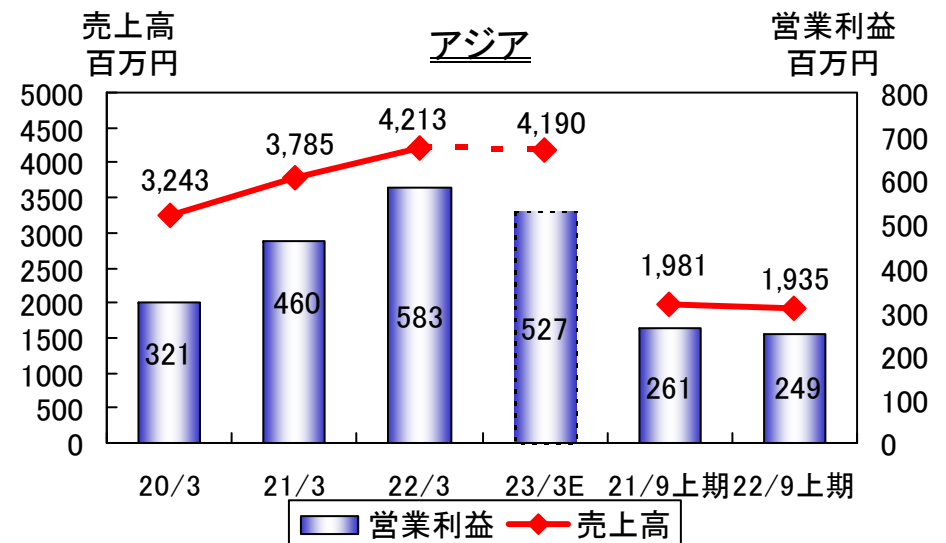
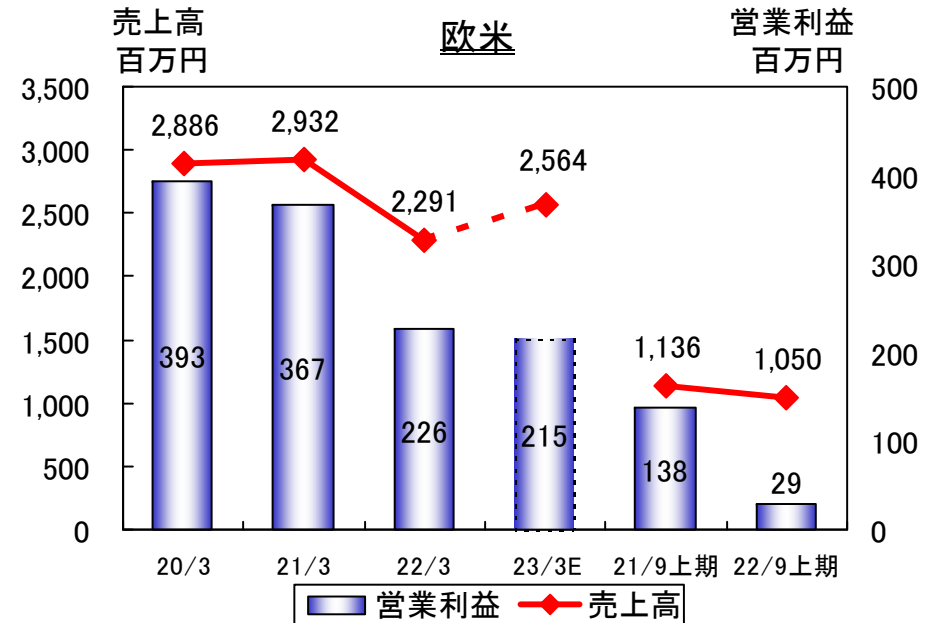
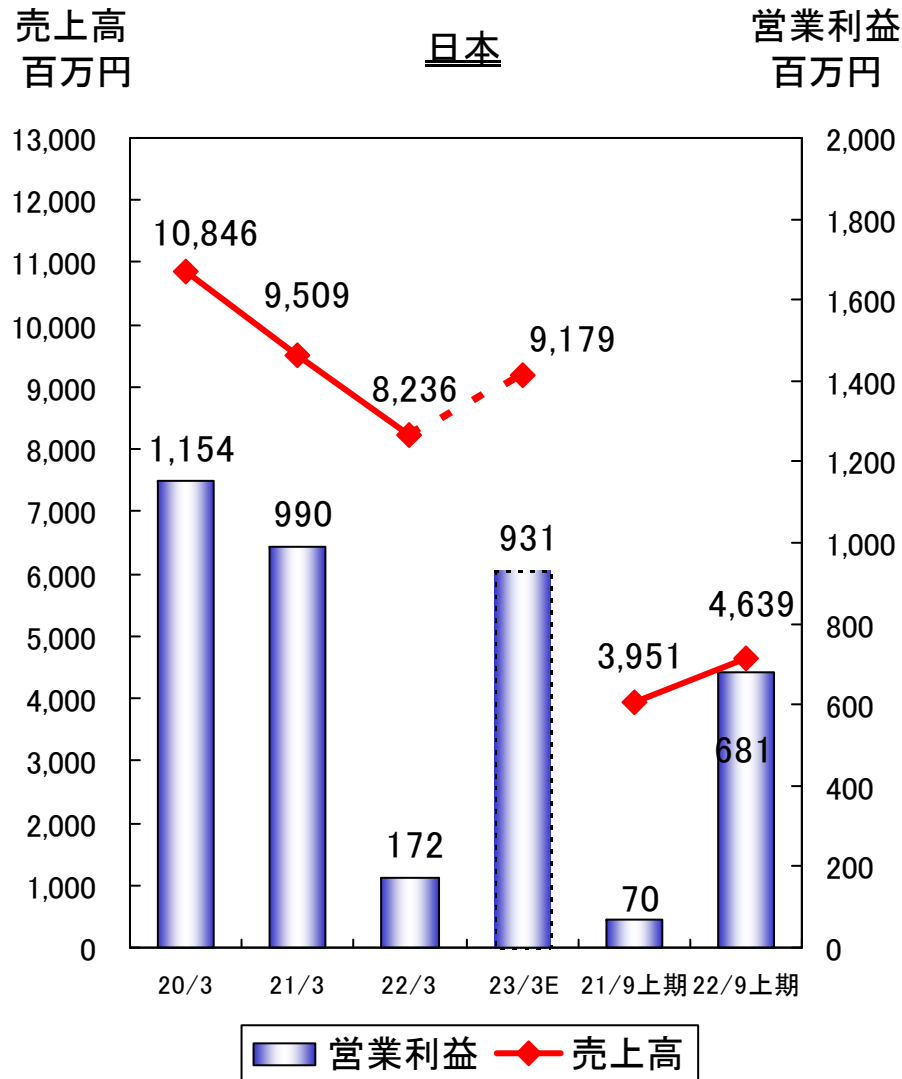
# 売上高の推移



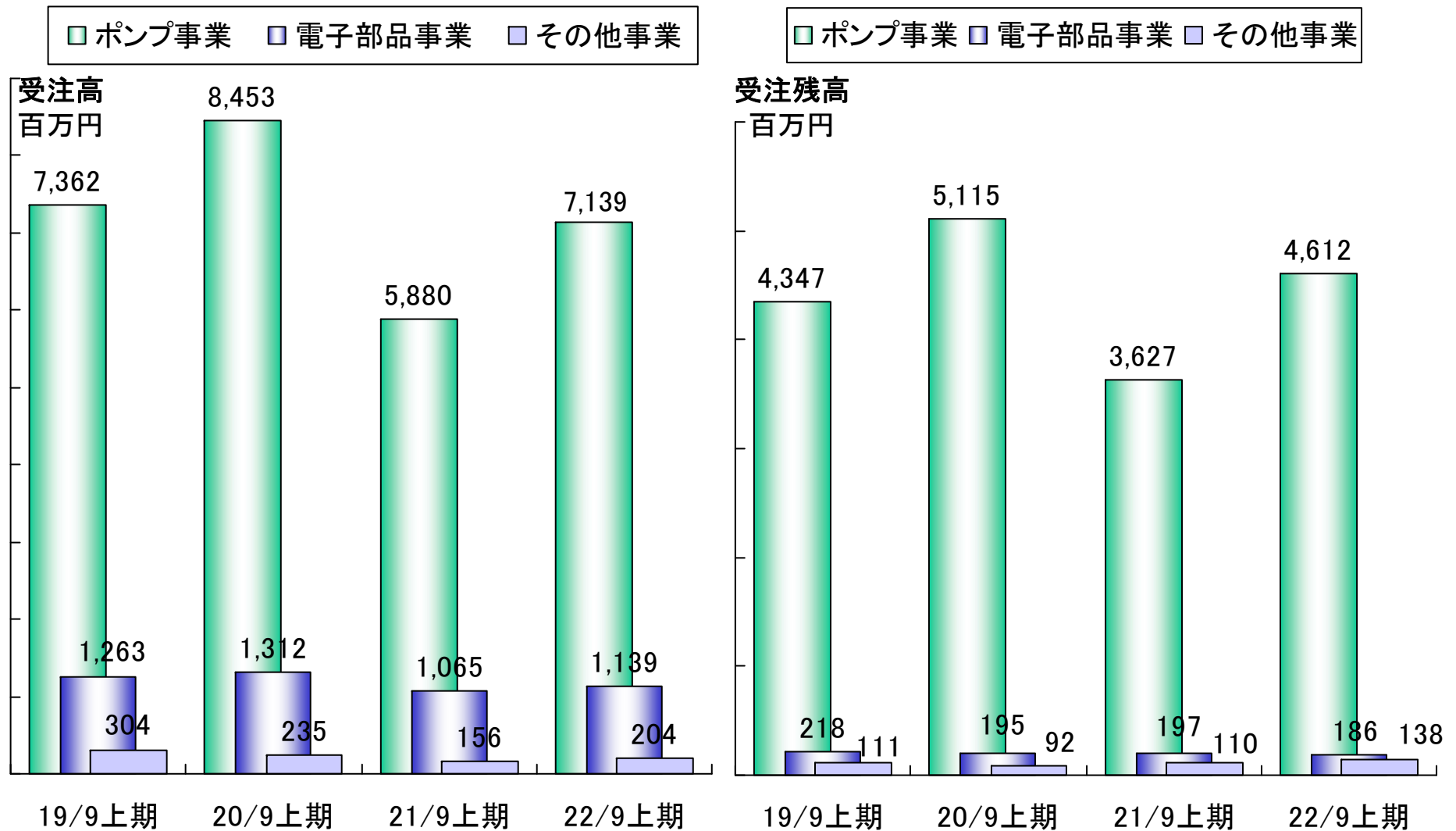
注) 予想数字は要注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意ください



# 所在地別セグメント(参考)

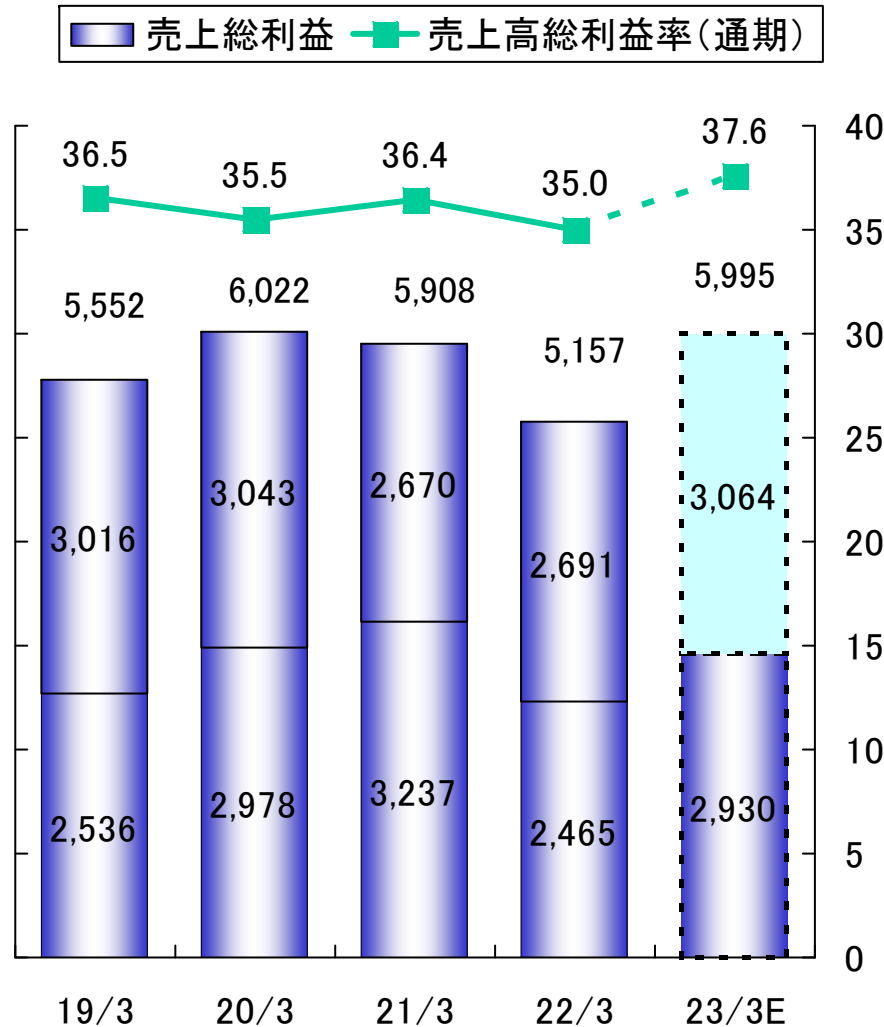


# 事業の種類別受注と受注残高



# 売上総利益

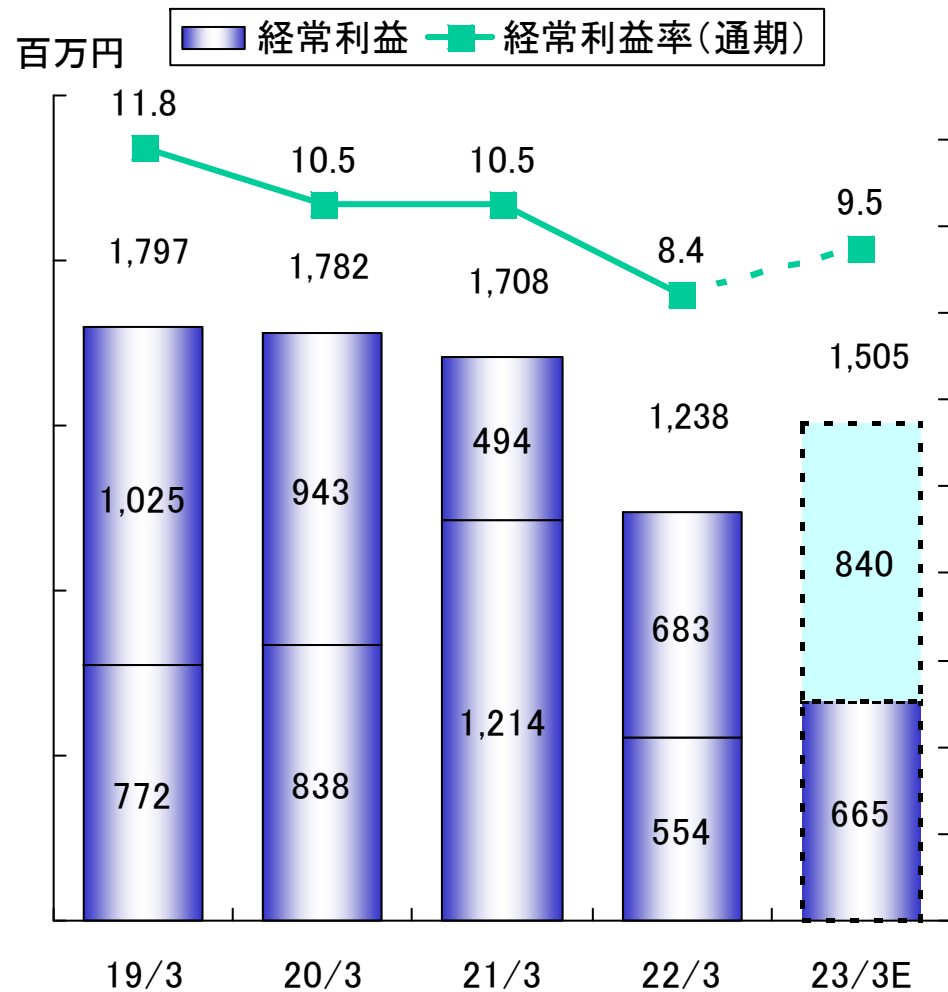
百万円



## 増収要因(前年同期比)

売上総利益	+464百万円
増収要因	+193百万円
その他	+271百万円
親会社	+526百万円
国内子会社	+88百万円
海外子会社	▲ 6百万円

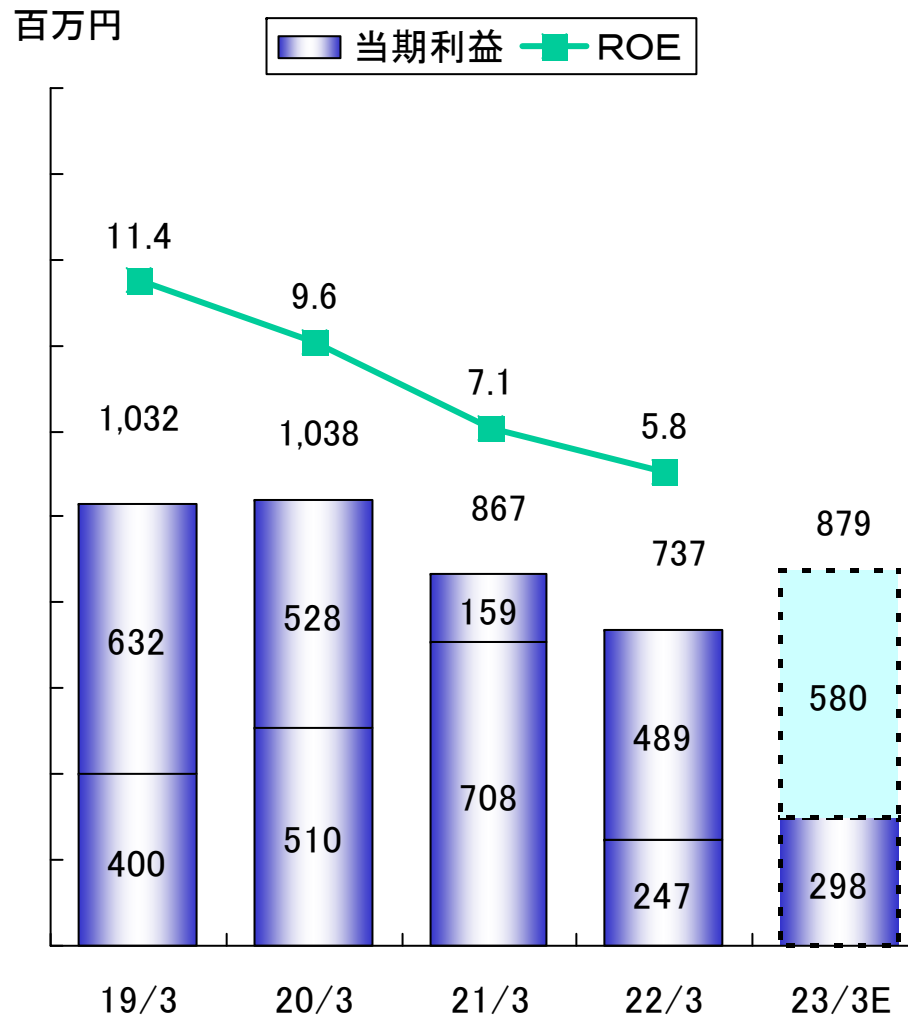
# 経常利益



## 増収要因(前年同期比)

経常利益	+111百万円
販管費 (うち人件費 + 74百万円)	+125百万円
営業外収益	▲ 62百万円
営業外費用	+ 165百万円
親会社	+403百万円
国内子会社	▲ 16百万円
海外子会社	▲ 171百万円

# 当期純利益



## 增收要因(前年同期比)

当期純利益 +51百万円

特別損益

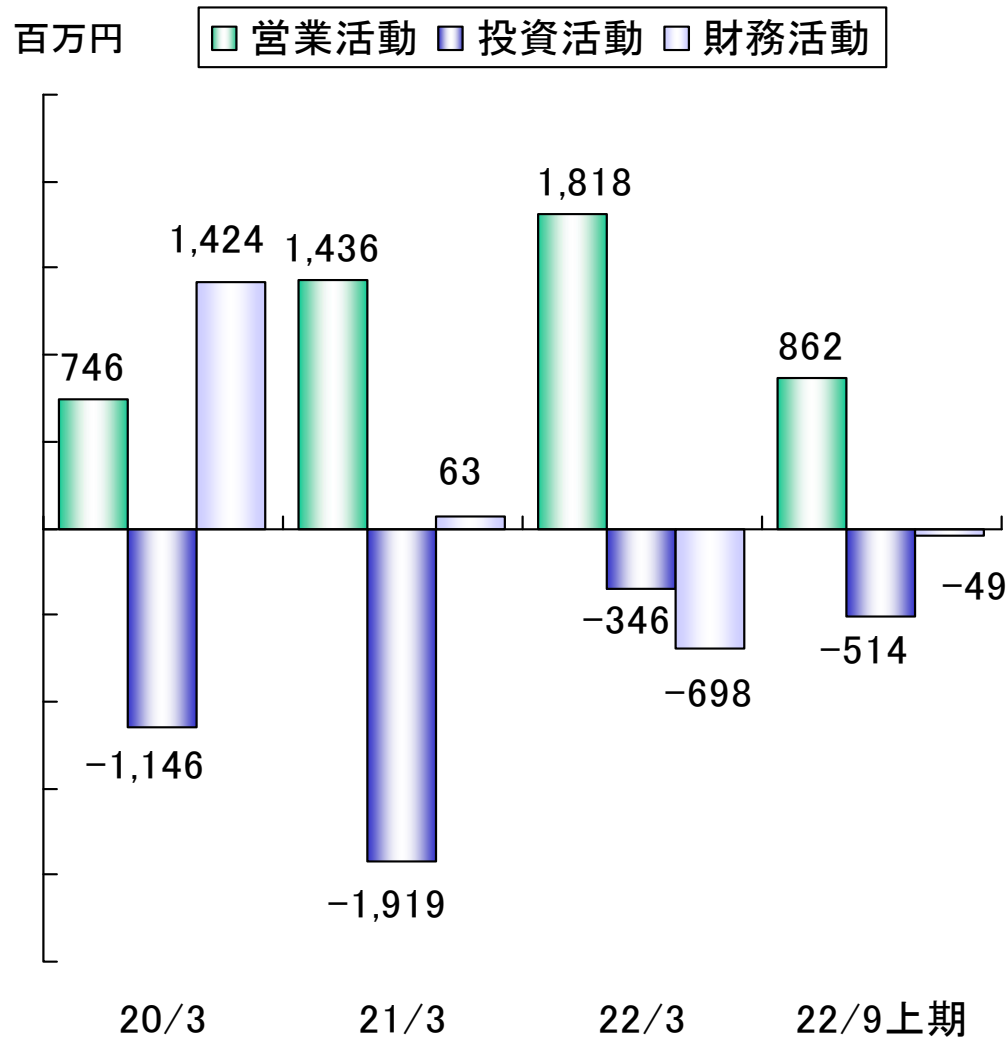
特別損失 ▲18百万円

# 連結貸借対照表の概要

単位 百万円	連結	前期末 増減		連結	前期末 増減
<b>流動資産</b>	11,609	1,030	<b>流動負債</b>	4,135	937
現預金	2,969	195	支払手形・買掛金	1,879	510
受取手形・売掛金	5,140	215	短期借入金	494	35
製品	1,087	396	その他	1,761	391
仕掛品	1,062	163			
原材料及び貯蔵品	844	28			
その他	505	31	<b>固定負債</b>	1,433	80
<b>固定資産</b>	7,036	82	長期借入金	-	-
有形固定資産	5,491	▲16	その他	1,433	80
無形固定資産	293	189	<b>純資産</b>	13,077	95
投資その他の資産	1,250	▲90	株主資本	13,260	203
			評価・換算差額等	▲183	▲108
<b>資産合計</b>	18,645	1,113	<b>負債、純資産合計</b>	18,645	1,113



# キャッシュフローと設備投資



## 設備投資

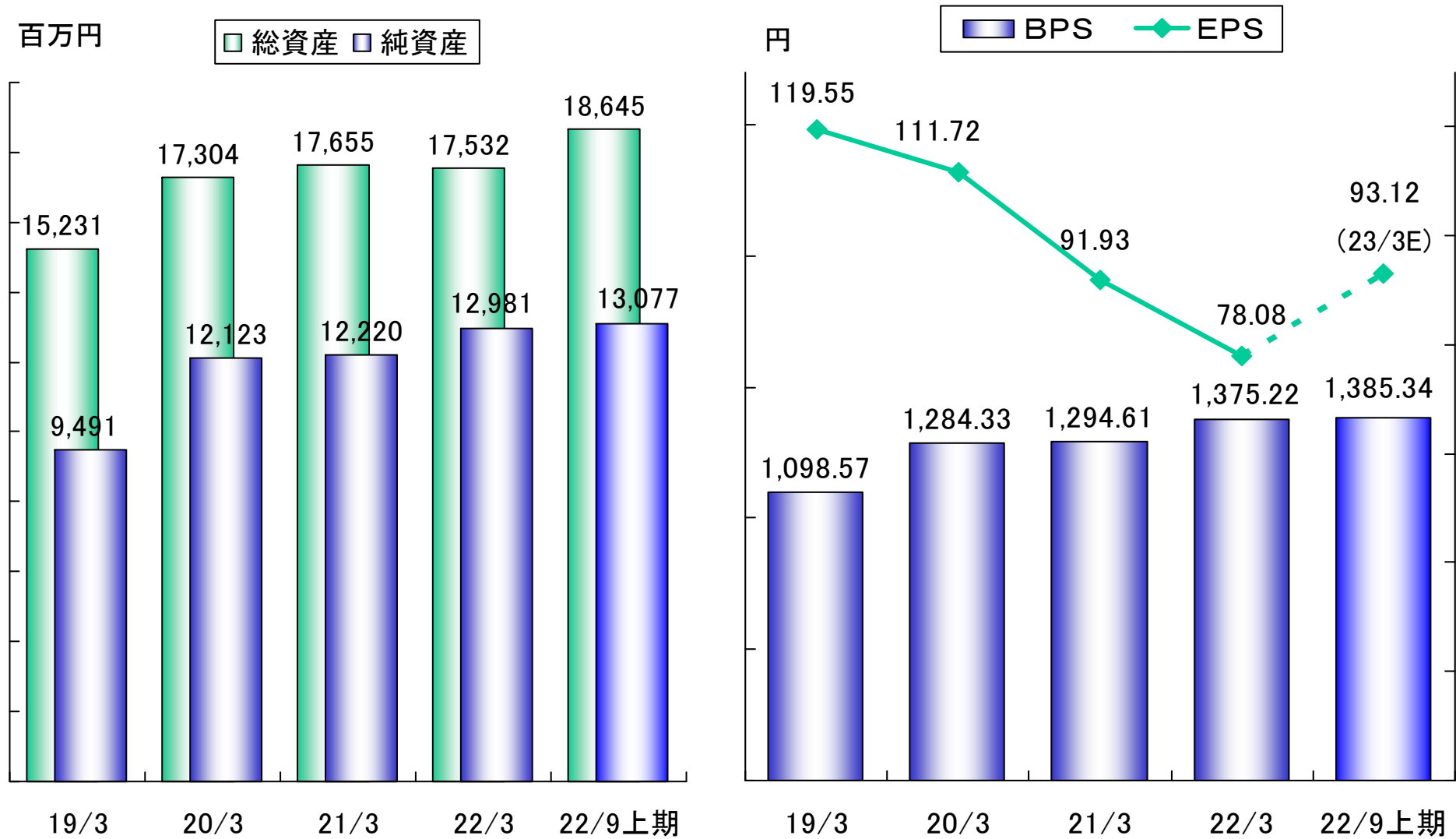
### 実績(当上期)

親会社	39百万円
子会社	186百万円
合計	225百万円

### 計画(通期)

親会社	246百万円
子会社	230百万円
合計	476百万円

# 総資産、純資産、BPS、EPS



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所